カリキュラム・マップ

現代心理学部の教育目的
「人間とは何か」という古くからの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学を通じ、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究すること。

学修成果
＜映像身体学科＞ 1)「人間とは何か」の根本問題に対し、心、身体、映像の3つの視点から理論的、実践的アプローチを行うことにより、21世紀を生きる人間にとって有効な思考方法を身につけることができる(「1.リベラルアーツの素養」との関連)。 2) さらに、「人間とは何か」の根本問題をめぐり、現代心理学部全体の知見を統合しつつ、心、身体、映像を多面的に理解する(「1.リベラルアーツの素養」との関連)。 3) 人間のからだをめぐって多様に蓄積されてきた東西の哲学、科学思想・身体技法を包括的に学ぶ身体学を修める(「2.専門性」との関連)。 4) こうした身体学の内部にあるものとして、知覚と運動に関する人間科学的思考の基礎を身につける(「2.専門性」との関連)。 5) 現代の知覚経験に大きく作用するものとしての機械映像の本質を、歴史的、理論的に学習する。映像を通して実現される表現や思考を解析し、批判し、創造的に実践できる技能を身につける(「3.自己を理解し発展させる力」、「5.他者を理解する姿勢」、「6.表現力」との関連)。

現代心理学部映像身体学科(課程)のカリキュラム					現代心理学部映像身体学科の学修成果との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)				
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学修成果	1) 「人間とは何か」に対して多面的に理解し、有効な思考方法を身につける	2) 心、身体、映像の知覚の基礎的概念を理解し、説明することができる	3) 人間の ＜からだ＞ をめぐって多様に蓄積されてきた東西の哲学、科学思想・身体技法を包括的に学ぶ ＜身体学＞ を修める	4) ＜身体学＞ の内部にあるものとして、知覚と運動に関する思考方法の基礎を身につける	5) 機械映像の本質を、歴史的、理論的に学習する。映像を通して実現される表現や思考を解析し、批判し、創造的に実践できる技能を身につける
現代心理学入門	必修科目	○	1	心・身体・映像の知の総合と「新たな人間学」の構築をめざして、各担当教員が専門学・思考を基盤として行う多様な発題を理解し、自分の知識と関心を専門学と関連付けられるようになる。	◎	○	○	○	○
映像身体学入門1	必修科目	○	1	映像身体学科の基幹的な導入科目として専任教員の講義を受けることで、映像身体学の理論的基礎を中心に学び、映像身体学の意義を理解して考察できるようになる。	◎	○	◎	○	◎
映像身体学入門2	必修科目	○	1	映像身体学科の基幹的な導入科目として専任教員を主体とする講義を受けることで、映像身体学の問題圏の広がりを知り、考察できるようになる。	◎	○	◎	○	◎
入門演習1	必修科目	○	1	専任教員によるリレー形式の演習を通して、大学で学ぶための基本的スキルおよび映像身体学を構成する知の基礎とその広がりを理解し、議論できるようになる。	◎	○	○	○	○
入門演習2	必修科目	○	1	専任教員のリレー形式の講義を受けることで映像身体学科での映像表現や身体表現に対する態度の基礎を身につける。	◎		○		○
学部統合科目1 (総合融合)	選択学部統合科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部コラボレーション科目1	選択学部コラボレーション科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目2 (認知行動)	選択学部統合科目	○	2～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、現代心理学の中核をなす認知・行動的側面を科学的・実証的に理解する。	◎	○			
学部統合科目3 (表現思考)	選択学部統合科目	○	2～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、映像や身体をめぐる思想、芸術表現について多面的に理解する。	◎	○			
学部統合科目4 (コラボ)	選択学部統合科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			
学部コラボレーション科目2	選択学部コラボレーション科目	○	1～4	人間とは何かという根本的な問いに迫るため、心理・身体・映像に関する諸学について、学術的・実践的知見を融合し総合的かつ多面的に理解する。	◎	○			

基礎演習1～15	選択 学科選 択科目A	○	2	専任教員の指導の下、演習やワークショップ形式を通じて基本文献の読解能力や身体表現・映像表現に関する基礎的な経験など、映像身体学を発展的に学ぶ上での基礎を身につけ、議論や表現ができるようになる。	○	△	◎	○	◎
映像身体学とキャリア	必修 学科	○	2	映像身体学の学びを、卒業後に社会のなかでどのように活かしていくのかを構想できるようになる。	◎	△	△	△	△
専門演習1・2	選択 学科選 択科目B	○	3～4	専任教員の指導の下、演習やワークショップ形式を通じて、文献読解や身体表現・映像表現に関する経験と考察を深め、卒業論文・卒業制作、またはそれに匹敵する成果を挙げられるようになる。	○	△	◎	○	◎
他者の現象学	選択 学科選 択科目C	○	2～4	哲学における現象学と他者論が、こころとからだの認識に何を示唆しているかを自ら探究できるようになる。	◎	○		○	
アフォーダンス	選択 学科選 択科目C	○	1～4	生態心理学の核をなすアフォーダンスの理論を学び、映像・身体にかかわる表現を環境の中のプロセスとして捉えられるようになる。	◎	○		○	
養生論の思想	選択 学科選 択科目C	○	2～4	東アジア各地域に蓄積されてきた身体、生命に対する認識・知恵を再評価できるようになる。	◎		◎		
オートポイエーシス	選択 学科選 択科目C	○	2～4	現代科学哲学の一部門としてのオートポイエーシス論を学び、表現、創造の行為を、人文科学の視野を越えて、自然システムの中で捉えらるようになる。	◎	○		○	
フィルム・スタディーズの基礎	選択 学科選 択科目C	○	2～4	映像がこころやからだに及ぼすはたらきを理解する前提として、映画芸術に固有の表現様式を系統的に学び、自分で対象を論じられるようになる。	◎				○
生命システム論	選択 学科選 択科目C	○	1～4	生命の基本的知識の修得を通じて、生命のイメージを理解し形成できるようになる。生命は地球上で最大の多様性をもつ存在であり、生命イメージの活用法を自ら探究できるようになる。	○	○		◎	
現代思想概説	選択 学科選 択科目C	○	1～4	＜映像＞と＜身体＞について考えるために、主に20世紀の思想の成果をふり返りながら、それらの思想がどのような重要な問題提起を行ったのかを理解し、自分で論点を立てられるようになる。	◎	○			
身体社会論	選択 学科選 択科目C	○	1～4	植民地主義や人種主義などの近代社会を深く規定する身体性を様々な芸術表現などを通して理解することで「社会を身体論的に把握するとはどういうことか」について論じられるようになる。	◎		○		
映像社会論	選択 学科選 択科目C	○	1～4	映像文化の歴史的事例の検証と映像の特性をめぐる理論的考察を通して、映像が浸透した社会の諸相とそこに生きる人間の諸問題について理解を深め、論じられるようになる。	○				◎
生態心理学	選択 学科選 択科目C	○	1～4	生態心理学の基本的な枠組みについて理解し、自ら用いることができるようになる。	○	○		◎	
身体表現史	選択 学科選 択科目C	○	1～4	身体表現を歴史的に考察し、あまりに広い「身体表現の歴史」という事柄にどのような意味をもたせられるかを自ら探究できるようになる。	○		○	◎	
映像表現史	選択 学科選 択科目C	○	1～4	具体的に映画（映像）作品を観る（聴く）こと、それについて書くことで、「映画（映像）とは何か」を考え、表現できるようになる。	○				◎
生態心理学実験	選択 学科選 択科目C	○	2～4	講義と実験を行い、行為を観察・記述する方法の習得を通して、生態心理学の基本的な視座を理解し、用いることができるようになる。	○	○		◎	
身体系ワークショップ1～7	選択 学科選 択科目C	○	2～4	演劇、ダンスや様々な身体技法を学び、実際に身体を動かすことを通じて、身体についての新たな知見を得、いままでとは違う身体の動かし方や身体についての語り方ができるようになる。	○		◎		
映像系ワークショップ1～7	選択 学科選 択科目C	○	2～4	映画、写真、先端映像技術などの実践を通じて機械的映像についての理解を深め、考え、表現できるようになる。	○				◎
超域系ワークショップ1	選択 学科選 択科目C	○	2～4	既成のジャンルに捉われない表現活動について実践し理解を深める。	◎				
戯曲シナリオ演習1	選択 学科選 択科目C	○	2～4	戯曲＝シナリオを様々な角度から読みこむことで、演劇への理解を深め、そのことで培われた感受性をもとに、世界を考察しなおすことができるようになる。	◎		○		
戯曲シナリオ演習2	選択 学科選 択科目C	○	2～4	戯曲＝シナリオを様々な角度から読みこむことで、演劇への理解を深め、そのことで培われた感受性をもとに、世界を考察しなおすことができるようになる。	◎		○		
身体学文献講読1	選択 学科選 択科目A	○	2～4	身体学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○		◎	○	
身体学文献講読2	選択 学科選 択科目A	○	2～4	身体学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○		◎	○	

身体学文献講読3	選択 学科選択科目A	○	2～4	身体学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○		◎	○	
映像シナリオ演習1	選択 学科選択科目C	○	2～4	シナリオを書くこと、読むことを通して、「劇映画の面白さとは何か」について考え、論じられるようになる。	○				◎
映像シナリオ演習2	選択 学科選択科目C	○	2～4	シナリオを書くこと、読むことを通して、「劇映画の面白さとは何か」について考え、論じられるようになる。	○				◎
映像シナリオ演習3	選択 学科選択科目C	○	2～4	映像におけるシナリオを書くための基礎的知力を高め、10分程度の映像（TVドラマ、ドキュメンタリー、映画など）のシナリオを一篇、完成させることができるようになる。	○				◎
映像学文献講読1	選択 学科選択科目A	○	2～4	映像学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○				◎
映像学文献講読2	選択 学科選択科目A	○	2～4	映像学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○				◎
映像学文献講読3	選択 学科選択科目A	○	2～4	映像学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○				◎
映像身体学文献講読	選択 学科選択科目A	○	3～4	映像学・身体学を究めるのに必要な文献を読んで理解し論じられるようになる。	○		○		○
身体の思想	選択 学科選択科目C	○	1～4	身体をめぐる知を多様な視点から学び、身体としての人間についての見識を獲得し、自ら探究できるようになる。	○		◎	○	
現代演劇論1	選択 学科選択科目C	○	2～4	現代の演劇について、演劇という芸術の特徴、社会において演劇が果たす役割について理解を深める。	○		◎		
現代演劇論2	選択 学科選択科目C	○	2～4	ドラマツルギーについて理解し、論じられるようになる。	○		◎		
比較舞踊論	選択 学科選択科目C	○	2～4	異なる舞踊文化を比較し、その多様性を理解することを通じて、舞踊とはなにかについて根源的に考察できるようになる。	○		◎	△	
パフォーマンスと身体	選択 学科選択科目C	○	2～4	パフォーマンス研究と身体論の基礎概念を理解し、それらによって文化事象を分析できるようになる。	○		◎	△	
身体人類学	選択 学科選択科目C	○	2～4	同時代の思想、文化研究、社会運動、身体表現、スポーツ、アニメなどを横断的に分析し、現代の身体を探索するための多様な方法を身につける。	○		◎		
芸術人類学	選択 学科選択科目C	○	2～4	芸術を人類の営みとして、身体性、知覚、技術としてのアートなどとの関連で理解し、論じられるようになる。	○		◎		
メディア論	選択 学科選択科目C	○	2～4	身体と世界を媒介するものがメディアである。しばしば、このメディアは映像にかかわる。身体や映像を中心として、具体的事例を踏まえながら、わたしたちと世界の関係を考察する。	△	○	◎		◎
映像の思想	選択 学科選択科目C	○	1～4	映像身体学科で学ぶ上で基礎となる映像を巡る知の基本的枠組みを身につける。	△	○			◎
アメリカ映画論	選択 学科選択科目C	○	1～4	アメリカ映画を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
ヨーロッパ映画論	選択 学科選択科目C	○	2～4	ヨーロッパで制作された映画作品を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
日本映画論	選択 学科選択科目C	○	2～4	日本映画を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
アジア映画論	選択 学科選択科目C	○	2～4	アジアの映画作品を中心に、機械映像である映画の本質、特性をふまえながら諸作品を理解し、考察して論じられるようになる。	△				◎
ドキュメンタリー映画論	選択 学科選択科目C	○	2～4	機械映像である映画の本質、特性をふまえながらドキュメンタリー映画についの知識を深め、ドキュメンタリーとは何かを理解し、論じられるようになる。	△				◎
写真映像論	選択 学科選択科目C	○	1～4	機械映像である写真の本質、特性をふまえながら、写真がどのような力を持ち、機能しているかを多角的に理解し、考察して論じられるようになる。	△	○			◎

映像技術論1	選択 学科選 択科目C	○	2～4	演出や脚本を十全に生かすために必要な「映像技術」の知識を習得し、自ら用いられるようになる。					◎
映像技術論2	選択 学科選 択科目C	○	3～4	演出や脚本を十全に生かすために必要な「映像技術」の知識を習得し、自ら用いられるようになる。					◎
ファッションの思想	選択 学科選 択科目C	○	2～4	身体表現・映像表現としてファッションを捉えられるようになる。	◎		○		
広告論	選択 学科選 択科目C	○	2～4	広告とは何かを理解し、これまでとは異なった広告表現の受け取り方ができるようになる。	○	△	○		
イメージとメディア	選択 学科選 択科目C	○	1～4	写真などのメディアについて、その知識を習得しながら表現のありようと可能性を理解し、考察して論じられるようになる。	◎				◎
映像人類学	選択 学科選 択科目C	○	2～4	「人類」と「映像」とのかかわりを、映画の生誕と同じ19世紀後半に生まれた「人類学・民族学」の視点を交えて考察する。	○	○	○		◎
ジェンダー文化論	選択 学科選 択科目C	○	2～4	ジェンダーとセクシュアリティをめぐる問題を理解し、論じられるようになる。	◎	○			
ポストコロニアル論	選択 学科選 択科目C	○	2～4	私たちにとっての、「ポストコロニアリズム」のアクチュアリティを理解し、論じられるようになる。	◎				
音の思想1	選択 学科選 択科目C	○	2～4	音楽とは何かを思考しながら、音楽をその背景となる人や文化とともに理解し、表現活動への捉え方を深める。	◎	○			
音の思想2	選択 学科選 択科目C	○	1～4	音楽とは何かを思考しながら、音楽を通して現代の映像と身体をより深く捉える視点を得る。	◎	○			
芸術の思想	選択 学科選 択科目C	○	1～4	芸術への理解を深め、現代における映像と身体をより深く捉える視点を得る。	◎	○			
言語芸術論	選択 学科選 択科目C	○	2～4	言語表現による芸術の可能性を学ぶ。	◎	○			
視聴覚文化論	選択 学科選 択科目C	○	1～4	知覚に関する諸概念とその歴史を学び、視聴覚による文化表象の仕組みを理解できるようになる。	○	◎			○
認知科学	選択 学科選 択科目C	○	1～4	認知科学の基本概念を修得し、認知の働きと情報処理との関連について考察する。		○		◎	
アートの心理学	選択 学科選 択科目C	○	2～4	アートと心理学との接点を多様な題材から探る。		○		◎	
芸能の理論と歴史	選択 学科選 択科目C	○	2～4	人前でわざを披露し、そのわざを伝承する文化事象としての芸能について、理論的・歴史的視点から学び、人間にとって芸能とは何かを論じられるようになる。	○		◎	△	
映像身体学特講 1～8	選択 学科選 択科目C	○	2～4	担当教員が現在最もアクチュアルであると考えているトピックスをめぐる講義を通じて映像論・身体論の最先端の知とはどのようなものかを理解し、論じられるようになる。	○		◎		◎
映像技術入門A・B	選択 学科選 択科目C	○	1	映像制作の初心者が映像と編集の基礎的な技術を身につけ、自ら用いることができるようになる。					◎
映像技術中級1	選択 学科選 択科目C	○	2～4	「映像技術入門」で習得した基礎から、より豊かな映像表現のための技術、及びテープレス素材管理の技術を身につける。					◎
映像技術中級2	選択 学科選 択科目C	○	2～4	「映像技術入門」と「映像技術中級1」の内容を踏まえて、より映像作品としてのクオリティを高める技術を身につける。					◎
舞台技術演習	選択 学科選 択科目C	○	2～4	演劇・ダンス公演における舞台機構や機材の基礎知識・技術を習得することで、舞台芸術の可能性を探り、安全な創作活動ができるようになる。			○		
都市の記憶と表象文化	選択 学科選 択科目C	○	1～4	映像と身体をめぐる表現を中心にした問題系について、海外体験を通じて知見を広め、映像身体学の学びを深める。	◎				

卒業論文・卒業制作指導演習1	選択学科選択科目D	○	4	指導教員の下で卒業論文・卒業制作をより高いレベルで仕上げられるようになる。	△	△	○	○	○
卒業論文・卒業制作指導演習2	選択学科選択科目D	○	4	指導教員の下で卒業論文・卒業制作をより高いレベルで仕上げられるようになる。	△	△	○	○	○
卒業論文・卒業制作	選択学科選択科目D	○	4	映像身体学科で学んだことの集大成として論文や映像表現・身体表現の作品を制作する。	◎	○	○	○	○
短期海外留学プログラム	自由自由選択科目		2～4	1ヶ月程度の短期海外留学プログラムを通じて、英語における全般的な力と異文化交流経験を育む。	◎				